

納期限 9月30日限りです

保険税という名まえはついていますが、これは一種の保険料でこの保険税が納まらなないと、国民健康保険事業の運営ができなくなり、ほかの被保険者にも迷惑をかけるので早めに完納しましょう。

発行者	徳地町
発行所	徳地町役場
編集者	河村 嶺
印刷所	今澄印刷所

徳地町報

住

台風の心配は、九月はちろんのこと、十月まで安心できません。家の内外をよく調べて、土台はしっかりとしているか、壁や窓の戸締りは大丈夫か調べておきましょう。

壁や窓などがたんでいて、そこから風が吹きこもる、屋根全体が吹き飛ばされた例があります。なにかと出費の多いときですが、修理箇所が大きくなるといいうちに手だてを講じておくようにいたしましょう。

初めての年金証書を手にしてニコニコ

県では、さる7月21日換出制老齢年金証書の授与式を行ないました。写真は当日の記念撮影で、最後列の左が山根米一さん(笹ヶ滝)前より2列目左から6人目が安田テルコさん(船津下)全列右より3人目、原田シヅエさん(夏焼下)の徳地町出身者です。



山根米一さん(左)、安田テルコさん(右)の授与式

キレイな町や川をつくるの

ゴミは袋に入れ ぎままとた日、場所へ出そう

徳地町報は、七月号で「徳地町清掃条例」八月号には「キレイな町づくりスタート」のキャッチフレーズで、永年におたまり感であったゴミの収集処理対策Vについて、広く皆さんの協力を願っていました。

この清掃事業は、現在、都市と農村を問わずほとんどの市町村で実施され、町の環境美化、キレイな町づくりに多大の成果をあげております。

本町では、さる八月に始めたばかりで、まだその成果をくわしくつかひにいたりませんが、こういう事業が成功するかどうかは、いかに住民皆さんの愛町心に基づいて、付けるものがあるように思えます。

「キレイな町づくり」の目的は、環境美化、個人には、程度の差こそあれ、愛町、愛郷心のない人ではありません。そこで、一つの問題を提起してみたいと思います。

それは、こうゆう問題です。私たちがたれでもが、経済的負担の伴わないことが、多少なりとも経済的負担が伴うことだからであって、スバリ言って一〇〇%の協力率、困難だという一面もあるではないか、困窮している一面もあるではないか、そうではないでしょうか。また、ゴミや汚物を川に流すということがあるとします。

これは、法律で禁止されている違法行為で、私たちが法外罰の国民が当然守らなければいけない、おきてを破ることになります。自分のつこうとしないで、国法や町条例を破って平気でいられる人、住むキレイな川や町づくりをしようとはしない人、あなたのご協力をお願いいたします。

また日が浅いので、統計的には数字をまとめることが、袋の配分状況やゴミの収集状況などから判断しやすくと、定められた日に決められた袋に入れ、決められた場所に「ゴミ」を出される数量がまだたいへん少ないように見受けられます。

自分のことは、人に迷惑をかけること、自分自身で迷惑をかけること、自分で捨てるものは焼いてしまし、燃えないものは、どこかに埋めて処理するものであれば、たいへん結構なことだと思います。しかし、そうでない場合もあるが、多いのでないでしょうか。たとえば、ゴミや汚物を川に流すということがあるとします。

これは、法律で禁止されている違法行為で、私たちが法外罰の国民が当然守らなければいけない、おきてを破ることになります。自分のつこうとしないで、国法や町条例を破って平気でいられる人、住むキレイな川や町づくりをしようとはしない人、あなたのご協力をお願いいたします。

待望の国民年金給付

国民年金は、原則として二十五歳から六十歳までの間に、老齢年金を受けられることになっていて、その該当者は、町内に相当ありましたが、そのうち昭和三十六年三月末の期限内、任意加入の申込みをされた方が二百四十五人ありました。

この方々のうち、トップをきって、さる八月か、いよいよ待望の「提出制老齢年金」を受けられる方は、次の四名の方でした。

大東善行さん(土井)
山根米一さん(笹ヶ滝)

国民年金は、原則として二十五歳から六十歳までの間に、老齢年金を受けられることになっていて、その該当者は、町内に相当ありましたが、そのうち昭和三十六年三月末の期限内、任意加入の申込みをされた方が二百四十五人ありました。

この方々のうち、トップをきって、さる八月か、いよいよ待望の「提出制老齢年金」を受けられる方は、次の四名の方でした。

大東善行さん(土井)
山根米一さん(笹ヶ滝)



ゴミと収集車
みんなで、清潔で明るい徳地町にノスローガンもあざやかにさる8月1日からお目見えした。ゴミ収集車(柚野産業、伊藤吉人氏)が、キレイな町づくりに動んでおられます。(写真はいつもと違って)



敬老の日に よせて

お子さんが生まれたのをきっかけに、若い息子夫婦から「おじいちゃん、おばあちゃん」呼ばわりされるのをいやがる初老の夫婦を見るのがあります。

かわいなお孫さんからおじいちゃん、おばあちゃんと呼ばれているのは、いい気持ちでしょうが、息子の嫁にまで「おじいちゃん、おばあちゃん」にされるのは、あまりよい気持ちではないようです。

若い夫婦が自分の子にも、三人称で呼ぶのは、かまいませんが、何もしないで、情けなくなるのは当然です。

とかく老人扱いにされることを嫌うか、若し息子夫婦から「おじいちゃん、おばあちゃん」呼ばわりされるのをいやがる初老の夫婦を見るのがあります。

かわいなお孫さんからおじいちゃん、おばあちゃんと呼ばれているのは、いい気持ちでしょうが、息子の嫁にまで「おじいちゃん、おばあちゃん」にされるのは、あまりよい気持ちではないようです。

若い夫婦が自分の子にも、三人称で呼ぶのは、かまいませんが、何もしないで、情けなくなるのは当然です。

町内の皆さま、更生保護人会では、さる七月の「社会を明るくする運動」に際し、入会費をお預けしました。この際、多数の皆さまのご協力をいただき、ありがとうございました。

募金は感謝
社会を明るくする運動

町内の皆さま、更生保護人会では、さる七月の「社会を明るくする運動」に際し、入会費をお預けしました。この際、多数の皆さまのご協力をいただき、ありがとうございました。

募金は感謝
社会を明るくする運動

町内の皆さま、更生保護人会では、さる七月の「社会を明るくする運動」に際し、入会費をお預けしました。この際、多数の皆さまのご協力をいただき、ありがとうございました。

募金は感謝
社会を明るくする運動

